

電話について	3-2
自分の電話番号を確認する	3-3
緊急通報について	3-3
緊急通報位置通知について	3-3
電話をかける	3-4
自宅ボタンで電話をかける	3-5
ワンタッチダイヤルで電話をかける	3-5
以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）	3-5
電話を受ける	3-5
電話に出られないとき	3-6
着信を保留にする	3-6
電話の留守録を利用する	3-6
着信を拒否する	3-7
通話中の操作	3-7
受話音量を調整する	3-7
スピーカーで相手の声を聞く	3-7
発信履歴／着信履歴を確認する	3-7
発信履歴を確認する	3-7
着信履歴を確認する	3-7
オプションサービスを利用する	3-8
オプションサービスの概要	3-8
転送電話サービス	3-8
留守番電話サービス	3-9
割込通話サービス	3-10
発信者番号通知サービス	3-10
発着信規制サービス	3-11
便利な機能	3-11
自分の電話番号に関する機能	3-11
通話に関する設定	3-11
発信時の操作	3-11
通話中の操作	3-12
着信時の動作	3-12
発信履歴	3-12
電話の留守録	3-12
転送電話サービス／留守番電話サービス	3-12

電話について

音声電話

いろいろな電話とお話できます。

- ・ 転送電話／留守番電話など、便利なオプションサービスも利用できます。

国際電話

音声電話をかけたり、受けたりすることができます。

- ・ 国際電話については、「7章 国際電話を利用する」を参照してください。

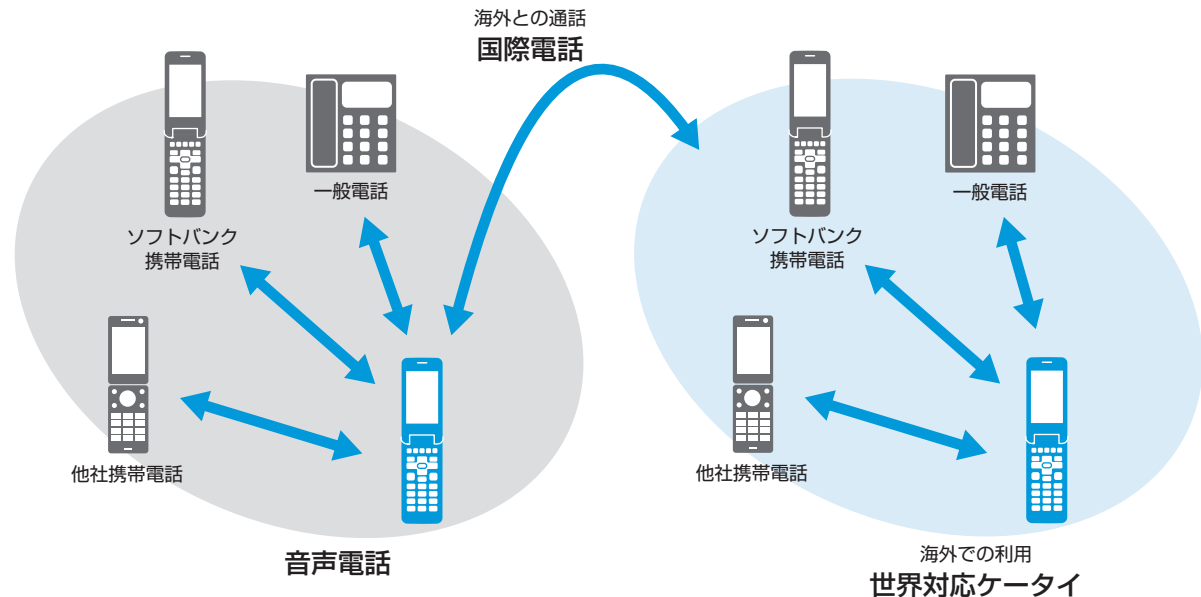
世界対応ケータイ

お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外でも利用できます。

- ・ サービスの詳細については、お問い合わせ先（P.12-18）までご連絡ください。

3

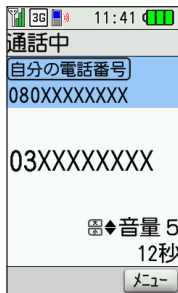
電話



自分の電話番号を確認する

- 1 (OK) → 「電話機能を使う」 → (OK) → 「自分の電話番号を見る」 → (OK)
 - ・ (OK) → (OK) で確認することもできます。

- ・ 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合など、詳細な情報を見る場合は (OK) を押します。
- ・ 音声通話中は画面に「自分の電話番号」が表示されます。



自分の電話番号画面

緊急通報について

操作規制中や発着信規制設定中でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。次の場合に緊急通報できます。

- ・ PIN入力画面
- ・ PINロック
- ・ PUKロック
- ・ USIM未挿入
- ・ 圏外
- ・ USIMロック
- ・ キー操作ロック
- ・ 安心遠隔ロック

海外での緊急通報

無線ネットワークや無線信号、携帯電話の機能設定状態、USIMカードの状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

通知する位置情報は基地局情報*とGPS測位情報があります。本機はGPS測位に対応しているため、発信場所などによってGPS測位機能が利用できる場合は、GPS測位情報を通知します。本機が通知したGPS測位情報は、位置履歴に残ります。

*基地局情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。

- ・ GPS測位情報を通知した場合は、測位情報が位置履歴（P.8-8）に保存されます。
- ・ 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- ・ 「184」をつけて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ・ 申込料金、通信料は一切必要ありません。
- ・ 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。

電話をかける

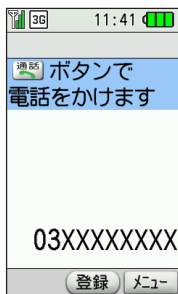
日本国内で音声電話をかける操作を説明します。

3

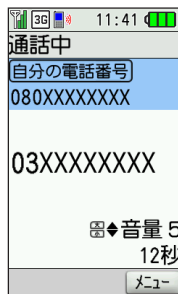
電話

1 電話番号を市外局番から入力

- 間違えて入力したときは、**[戻る]**を押すと右端から1桁ずつ消去できます。また、**[電話 / メール]**で間違えた場所の前へ移動し**[戻る]**を押すと、すぐ後ろの数字から1桁ずつ消去できます。
- **[戻る]**を長く（1秒以上）押すか、**[戻る]**で待受画面に戻ることができます。
- 電話帳から電話をかける方法については、「電話帳から電話をかける」(P.2-14)を参照してください。



2 **[通話]**

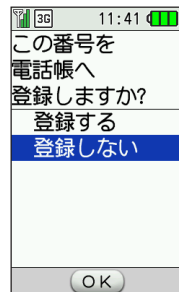


- 通話中に **[大]** / **[小]** または **[便利]** / **[専用]** を押して、受話音量を調節できます。

3 **[通話終了]** → 通話終了

4 **[OK]**

- 電話帳にない番号に電話をかけた場合、通話終了後に次の画面が表示されます。いずれかを選択して**[OK]**を押してください。「登録する」を選択した場合の登録方法は、「電話帳に登録する」(P.2-9)を参照してください。



- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分 (P.1-3) を手で触れたりおおったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
- 本機の向きや位置によって通話品質が変わることがあります。

自宅ボタンで電話をかける

自宅ボタンに登録した自宅に電話をかけます。

1 を押して待受画面を表示

2

- 自宅ボタンが登録されていない場合、登録確認の画面が表示されます。登録する場合は「電話帳から選ぶ」／「新しく登録する」のいずれかを選択して を押すと登録画面が表示されます。登録方法は「自宅ボタンを登録する」(P.2-15) を参照してください。登録しない場合は で待受画面に戻ることができます。

3 「発信する」→

- 相手が電話を受けると、通話できます。

4 →通話終了

5

ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

1 を押して待受画面を表示

2 ① / ② / ③ / ④

- ワンタッチダイヤルが登録されていない場合、登録確認の画面が表示されます。登録する場合は「電話帳から選ぶ」／「新しく登録する」のいずれかを選択して を押すと登録画面が表示されます。登録方法は「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.2-15) を参照してください。登録しない場合は で待受画面に戻ることができます。

3 「電話をかける」→

- 相手が電話を受けると、通話できます。

4 →通話終了

5

以前かけた電話番号にもう一度かける (リダイヤル)

以前かけた電話番号を、発信履歴から選んで電話をかけます。

1

2 「発信履歴を見る」→

3 かけたい番号の履歴を選択→

4

- 相手が電話を受けると、通話できます。

5 →通話終了

6

音声電話がかかってくると、サブディスプレイが点灯し、お知らせランプ (電話) が点滅します。

1 本機を開き、番号を確認する

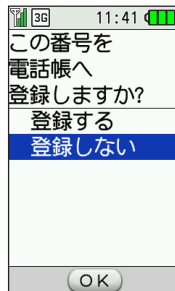
- 着信中に / または / を押して、着信音量を調節できます。着信音の音量設定を変更する場合は、11-3ページを参照してください。

2

3 →通話終了




4

- 電話帳にない電話番号から電話を受けた場合、通話終了後に次の画面が表示されます。いずれかを選択して を押してください。「登録する」を選択した場合の登録方法は、「電話帳に登録する」(P.2-9) を参照してください。



着信を保留にする

1 着信中に






- 電話をかけてきた相手には、応答保留中のメッセージが流れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中の通話に出る場合は、 または  を押します。
- 応答保留中の通話を終了する場合は、再度  を押します。

電話の留守録を利用する







電話に出られないとき、本機で相手の用件を録音できるようにします。

電話の留守録を設定する

電話に出られないときに、自動的に留守録に切り替わるように設定できます。



- 1  → 「電話機能を使う」 → 
- 2 「留守番電話を聞く」 → 
- 3 「電話の留守録を設定する」 → 
- 4 「留守録を設定する」 → 

5 「設定する」 → (2回)

- 電話に出られなかったとき、応答メッセージが再生されたあと録音が始まります。
- 録音可能時間が経過するか、通話が終了すると自動的に停止します。
- 電話の留守録で応答するまでの時間を変更するときは、以下の操作を行います。
 → 「電話機能を使う」 →  → 「留守番電話を聞く」 →  → 「電話の留守録を設定する」 →  → 「留守録が応答するまでの時間」 →  → 時間を設定 →  (2回)


- 割込通話では電話の留守録を使用できません。
- 録音されたメッセージが5件になると録音できません。メッセージを削除してください (P.3-12)。
- 電源を切っているときや電波の届かない状態では利用できません。この場合は、オプションサービス「留守番電話サービス」のご利用をおすすめします (P.3-9)。

着信中に電話の留守録を設定する

- 1 着信中に 
- 2 「留守番電話」 → 

録音されたメッセージを再生する




■未再生のメッセージを再生する

未再生のメッセージがある場合は、待受画面に未再生のメッセージの件数が表示され、 が点滅します。






1 → 「電話の留守録」 →

2 未再生のメッセージを選択 →




メッセージが再生されます。

- 再生中に  を押すと、再生を一時停止できます。再生を再開するには、もう一度  を押してください。
- 続けて他のメッセージを再生する場合は、 を押すと留守番電話の録音画面に戻ります。
- 一度再生したメッセージは、カセットアイコンの色が赤からグレーに変わります。

■再生済みのメッセージを再生する

- 1  → 「電話機能を使う」 → 
- 2 「留守番電話を聞く」 → 
- 3 「電話の留守録を聞く」 → 
- 4 再生済みのメッセージを選択 → 

メッセージが再生されます。

- 再生中に  を押すと、再生を一時停止できます。再生を再開するには、もう一度  を押してください。
- 続けて他のメッセージを再生する場合は、 を押すと留守番電話の録音画面に戻ります。

- メッセージが5件録音された状態で「電話の留守録を聞く」を選択すると、「録音件数が一杯です 録音データをいくつか削除して下さい」というメッセージが表示されます。Ⓚを押すとメッセージが消えるので、録音されたメッセージを再生したあと、不要なメッセージを削除してください (P.3-12)。

着信を拒否する

- 1 着信中に **Y**
- 2 「着信拒否する」 → Ⓚ
通話が終了します。
電話をかけてきた相手には「相手側の都合により通話できません」というメッセージが表示されます。

- 相手先の種類や電話番号によって着信を拒否するよう設定することもできます (P.9-7)。

受話音量を調整する

- 1 音声電話通話中画面で **大** / **小** または **増大** / **等大**
 - 通話中に音量を変更した場合、受話音量の設定も変更されます。

スピーカーで相手の声を聞く

- 1 音声電話通話中画面で **Y**
- 2 「スピーカーで聞く」 → Ⓚ
相手の声がスピーカーから聞こえるようになります。
• 受話口からの出力に戻すときは、Ⓚを押してください。 **Y** → 「受話口で聞く」 → Ⓚでも受話口からの出力に戻すことができます。

発信履歴を確認する

- 1 Ⓚ → 「電話機能を使う」 → Ⓚ
- 2 「電話をかけた履歴を見る」 → Ⓚ

着信履歴を確認する

- 1 Ⓚ → 「電話機能を使う」 → Ⓚ
- 2 「電話を受けた履歴を見る」 → Ⓚ

オプションサービスの概要

次のサービスが利用できます。

転送電話サービス	圏外時や電話に出られないとき、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。
留守番電話サービス	圏外時や電話に出られないとき、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話サービス	通話中にかかってきた電話を受けることができます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりします。

- ・転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- ・通話中の一時保留をご利用になるには、「割込通話サービス」(P.3-10) への申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・サービスによっては、別途申し込みが必要です。各サービス内容やお申し込みなど詳しくは、「ソフトバンクモバイルホームページ」を参照してください。

転送電話サービス

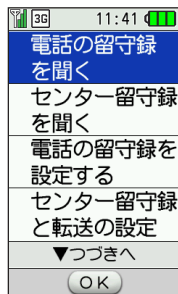
転送電話サービスを開始する

電話帳に登録している電話番号に、「呼出あり」で転送する方法を例に説明します。

- ・「1」「00」「0120」「0990」から始まる電話番号は、転送先として登録できません。

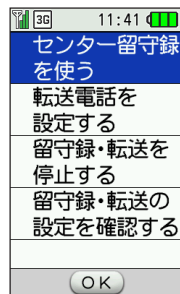
1 (OK) → 「電話機能を使う」 → (OK)

2 「留守番電話を聞く」 → (OK)



通話サービス設定画面

3 「センター留守録と転送の設定」 → (OK)



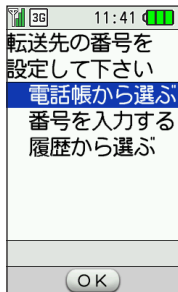
留守番電話・転送画面

4 「転送電話を設定する」 → (OK)

5 「呼出あり」 → (OK)

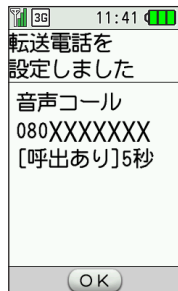
- ・着信音を鳴らさずに電話を転送するときは「呼出なし」を選択します。

6 呼出の秒数を選択 → **OK**



7 「電話帳から選ぶ」 → **OK** → 転送先の電話番号を選択 → **OK** (3回)

- 電話番号を直接入力して登録するときは、以下の操作を行います。「番号を入力する」 → **OK** → 電話番号を入力 → **OK** (2回)
- 通話履歴から登録するときは、以下の操作を行います。「履歴から選ぶ」 → **OK** → 「かけた履歴」 / 「受けた履歴」 / 「不在着信の履歴」 → **OK** → 転送先を選択 → **OK** (2回)



8 **OK**

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- すでに留守番電話サービスが開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。
- 転送電話サービス開始後に着信した場合、着信音が鳴っている間に **OK** を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」に設定している場合は、着信は行われず、転送先へ転送されます。

転送電話サービスを停止する

- 1 留守番電話・転送画面で「留守録・転送を停止する」 → **OK** (2回)

留守番電話サービス

留守番電話サービスを開始する

「呼出あり」で留守番電話を利用する方法を例に説明します。

- 1 留守番電話・転送画面で「センター留守録を使う」 → **OK**
- 2 「呼出あり」 → **OK**
- 3 応答時間を選択 → **OK** (2回)

- ・転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。
- ・すでに転送電話サービスが開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- ・留守番電話サービス開始後に着信した場合、着信音が鳴っている間に **[通話]** を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」に設定している場合は、着信は行われず、留守番電話センターへ転送されます。
- ・留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在案内メッセージの利用など、いろいろな機能があります。

着信お知らせ機能

電源を切っているときや圏外にいるときの着信を留守番電話センターで記憶し、電波の届く状態になったときにお知らせを表示します。

- ・留守番電話サービスを開始しているときだけ有効になります。

1 「1414」を入力 → **[通話]**

- ・以降は、アナウンスに従って操作してください。

伝言メッセージを聞く

1 通話サービス設定画面で「センター留守録を聞く」 → **[OK]**

- ・以降は、アナウンスに従って操作してください。

留守番電話サービスを停止する

1 留守番電話・転送画面で「留守録・転送を停止する」 → **[OK]** (2回)

割込通話サービス

割込通話サービスを設定する

1 通話サービス設定画面で「割込通話を設定する」 → **[OK]**

2 「設定する」 → **[OK]**

- ・割込通話サービスを解除する場合は「設定しない」、設定状況を確認したい場合は「設定を確認する」を選択します。

3 **[OK]**

通話中にかかってきた電話を受ける

1 通話中に割込通話着信音が聞こえる → **[通話]**

通話中の相手が保留になり、割込の電話とつながります。

- ・以下の操作でも、通話中にかかってきた電話を受けられます。

[Y?] → 「着信を応答」 → **[OK]**

- ・通話中だった相手との通話を終了して、割込の電話に応答したい場合は、以下の操作を行います。

[Y?] → 「終話して応答」 → **[OK]**

通話中の相手を切り替える

1 割込通話中に **[Y?]** → 「通話を切替」 → **[OK]**

- ・上記の操作を行うたびに、通話する相手が切り替わります。
- ・割込通話中に **[通話]** を押すと、通話中の電話は切れ、保留中の相手との通話が始められます。
- ・割込通話中に通話中の相手が電話を切ると、呼び出し音が鳴り、画面に「保留中」と表示されます。**[通話]** を押すと、保留中の相手との通話になります。

発信者番号通知サービス

電話番号の通知／非通知を事前に設定できます。

1 **[OK]** → 「安心機能を使う」 → **[OK]**

2 「機能・操作を制限する」 → **[OK]**

3 「発信者番号の通知を設定する」 → **[OK]**

4 「相手に通知する」／「通知しない」 → **[OK]** (2回)

発着信規制サービス

本機は発着信規制サービスに対応していません。ただし、機種変更などで使用される場合に、以前の機種で設定していた発着信規制サービスの設定を本機から解除できます。このとき、発着信規制用暗証番号は、以前の機種での契約時に使用していたものを入力します。

発着信規制サービスを解除する

- 1 通話サービス設定画面で「発着信規制を解除する」→ **OK** (2回)
- 2 発着信規制用暗証番号を入力 → **OK**

・ 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定解除ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。

自分の電話番号に関する機能

入力項目を編集する

- 1 自分の電話番号画面で **OK** → 編集したい項目を選択 → **Y?** → 「編集する」 → **OK** → 情報を編集 → **OK** → **辞書** → **OK**

入力項目を削除する

- 1 自分の電話番号画面で **OK** → 削除したい項目を選択 → **Y?** → 「内容を消す」 → **OK** → **辞書** → **OK**
 - ・ 本機の電話番号（一番上に登録されている電話番号）は編集や削除ができません。
 - ・ 編集や削除を続けて行う場合は、**辞書**を押さずに、次の項目の編集や削除を行います。すべての編集や削除が終わったら **辞書** → **OK**を押してください。

通話に関する設定

受話音量を調整したい

- 1 **OK** → 「設定する」 → **OK** → 「電話の音や振動を設定する」 → **OK** → 「通話中の音量を設定する」 → **OK** → **大** / **小** または **便利** / **写真** で音量を調整

・ **辞書** を押すと実際の音量を確認できません。音を止めるには、もう一度 **辞書** を押してください。

2 **OK** (2回)

特定の相手先にしか発信できないようにしたい

「電話・メールの相手を制限する」(P.9-7)を参照してください。

発信時の操作

以前かけてきた相手にかけ直したい

- 1 **OK** → 「電話機能を使う」 → **OK** → 「電話を受けた履歴を見る」 → **OK** → かけ直したい電話番号を選択 → **OK** (2回) → 通話が終わったら **OK**
 - ・ かけ直したい電話番号を選択後 **Y?** を押すと、番号の通知/非通知を指定してかけ直すこともできます。

出られなかった着信にかけたい

- 1 **OK** → 「電話機能を使う」 → **OK** → 「不在着信の履歴を見る」 → **OK** → かけたい電話番号を選択 → **OK** (2回) → 通話が終わったら **OK**

電話番号の通知／非通知を指定し てかけたい

- ダイヤル画面で電話番号を入力→**[Y?]**→「番号非通知」／「番号通知」→**[OK]**→**[戻る]**→通話が終わったら**[OK]**

通話中の操作

こちらの声を聞こえないようにしたい

- 音声電話通話中画面で**[Y?]**→「消音にする」→**[OK]**
 - 通話中に消音を解除する場合は、再度**[OK]**を押します。

通話中にプッシュトーンを送りたい

- 音声電話通話中画面で**[P*]**～**[9*]**、**[*]**、**[*]**のいずれかのボタンを押す

着信時の動作

着信音を設定したい

「着信音を変更する」(P.2-4)を参照してください。

バイブレーターを設定したい

「バイブレーターを設定する」(P.2-4)を参照してください。

発着信履歴

通話履歴を1件削除したい

- [OK]**→「電話機能を使う」→**[OK]**→「電話をかけた履歴を見る」／「電話を受けた履歴を見る」→**[OK]**→削除したい履歴を選択→**[Y?]**→「削除する」→**[OK]**→「1件削除する」→**[OK]**→「削除する」→**[OK]**(2回)

通話履歴を全件削除したい

- [OK]**→「電話機能を使う」→**[OK]**→「電話をかけた履歴を見る」／「電話を受けた履歴を見る」→**[OK]**→**[Y?]**→「削除する」→**[OK]**→「全て削除する」→**[OK]**→操作暗証番号を入力→「削除する」→**[OK]**(2回)

電話の留守録

録音されたメッセージを削除したい

- [OK]**→「電話機能を使う」→**[OK]**→「留守番電話を聞く」→**[OK]**→「電話の留守録を聞く」→**[OK]**→削除したいメッセージを選択→**[Y?]**→「削除する」→**[OK]**→「削除する」→**[OK]**(2回)

転送電話サービス／留守番電話サービス

転送電話サービス／留守番電話サービスの設定状況を確認したい

- [OK]**→「電話機能を使う」→**[OK]**→「留守番電話を聞く」→**[OK]**→「センター留守録と転送の設定」→**[OK]**→「留守録・転送の設定を確認する」→**[OK]**→設定を確認→**[OK]**